

# 1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

平成 21年 8月 24日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0173700311		
法人名	医療法人社団 協会		
事業所名	グループホーム ねねむ		
所在地	〒052-0011 北海道伊達市竹原町28番地3 (電話) 0142-22-0616		
評価機関名	社団法人 北海道シルバーサービス振興会		
所在地	〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 4階		
訪問調査日	平成21年7月17日	評価確定日	平成21年8月24日

【情報提供票より】 ( 21 年 6 月 20 日 事業所記入 )

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16 年 2 月 16 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	26 人	常勤	26 人 非常勤 0 人, 常勤換算 26 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄 骨 造り		
	2 階建ての 1 ~ 2 階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円		
その他の経費(月額)	光熱水費12,000円 暖房費(10~3月) 8,000円		
敷 金	有 ( 円 ) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ( 円 ) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要 ( 6 月 20 日現在 )

利用者人数	27 名	男性	3 名	女性	24 名
要介護1	6 名	要介護2	5 名		
要介護3	7 名	要介護4	8 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86 歳	最低	73 歳	最高	98 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	ミネルバ病院 守谷内科医院 堅田歯科医院
---------	----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

新興住宅街の中心部にあって、広い敷地を有し、恵まれた温暖な気候のもとに建てられている事業所である。利用者が畑づくりや花壇作りを楽しむことができる大変素晴らしい環境である。また、職員間も信頼関係が深く、悩み事を施設長や先輩職員に気軽に相談できるような関係作りがなされていることが伺える。そのような良好な環境の中で、職員が一体となり「利用者の終の棲家となれるよう頑張りたい」という思いを持ち、利用者一人ひとりがその人らしい生活を送ることが出来るよう、利用者本位を徹底したケアサービスに取り組んでいる。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価で、地域密着型を盛り込んだ理念の文章化が、改善点として挙げられていた。「地域社会に貢献する」との文言が加えられ、改善が図られている。地域との相互交流及び災害対策については、今後、消防署と協議のうえ、防災訓練の参加と協力を得られることを期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員が自己評価に取り組み、その内容を職員間で検証し管理者がまとめ全体評価をしている。評価の意義を確認し、日々のサービスを振り返りながら、改善に向けた具体案の検討や見直しに繋げるため、取り組まれている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議委員の提案で、建物外部への非常ベル設置を決めるなど、取組みには常に積極的であり、運営推進会議の討議内容を活かした取組みが即時対応で成されている。今後は、会議出席者の多様性に期待したい。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>職員の異動時など新人と利用者の関係構築に先輩が加わる等することにより、家族も安心し、信頼関係も良好である。施設内に苦情箱なども設け、家族の来訪時には、積極的な語り掛けにより意見の集約に努めている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>定例化した婦人会との交流や、地域の祭りへの参加や、おみこしも事業所まで来てくれるなど、地域とのつきあいは良好である。利用者家族向けと、自治会向けの2種類の事業所だよりを発行している。自治会役員を通して自治会向け「ねねむ新聞」を回覧している。地域との交流を積極的に図られ、連携が取れている。</p>

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域との交流を深めたサービスの提供が図られ、「地域社会に貢献する」との新しい理念の下、実践への取り組みを着実に進めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の目につきやすいところへ理念の貼りだし、カンファレンスでの周知、新規採用時での説明等、実践への基礎が整い、理念の共有と日々の取組みが徹底されている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	婦人部との交流の定例化、地域の祭りへの参加や、おみこしも事業所まで来てくれる。また、夜店などへの参加も検討している。積極的な地域との交流が図られている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員で自己評価を行い、改善点は話し合いの下、出来る事からとの事であり、取り組みについては評価されるものである。	○	ユニットごとに改善シート等を作り、改善進捗度などを明らかにしていく事を提案したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議委員の提案で、建物外部への非常ベル設置を決めるなど、取り組みには常に積極的であり、運営推進会議の討論内容を活かした取り組みが即時対応で成されている。	○	年4回ほどの開催と云う事であるが、冬季5ヶ月間は開催されていない等、定期的な開催を望みたい。会議参加者については、職種等幅広く、人選の工夫を期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市とは、制度解釈や改善点を話し合うなど、又 道厚生局と市の合同視察・体験受け入れを行う取り組みが成されている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ねねむ新聞、定期報告、電話連絡、家族来訪時等々、機会をとらえて個々に合わせてその都度臨機応変に対応し家族に金銭管理や職員の異動についてなど頻繁に連絡を行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設玄関に「国保連の苦情窓口記載ポスター」を掲示、母体組織にも苦情担当者を設けている。家族来訪時の意見や要望は、記録に残し全職員が把握、共有出来る仕組みが整っている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動には利用者への説明と、先輩職員が利用者の反応を把握し、新人職員の間をとりなしていくよう、職員の異動リスクを最小限にとどめる体制を整えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修、講演会等参加対応の勤務体制をとっている。年4回のグループホーム研修や資格取得奨励も顕著。他ホームとの交流も大切と管理者は理解している。	○	今後、事業所自体や個々などそれぞれ年間計画をたてることで、目標を定め全体の向上に役立てることを期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホーム連絡会、ケアマネ連絡会に参加、年4回のグループホーム研修、他法人との職員交流も図りサービスの質の向上に努めている。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前見学で、ホームの雰囲気に慣れてもらい、面談では現在の困り事等を確認する。又、家族の協力で一緒に食事や、宿泊することで、雰囲気に馴染めるように、入居前の馴染みの関係づくりを行うようにしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	畑では山菜の取り方や、調理時には昔ながらの調理法を、本人から教えてもらうことがある。また、職員が本人に励まされ元気づけられることもある。喜怒哀楽を共にし、学んだり支え合う関係がしっかりと築かれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人本位に検討している。意思決定の困難な利用者には、こちらから提案する試みも行い、買い物、散髪等、本人の意向を尊重している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の普段の様子から、担当職員、家族の意見、ケアに必要と思われる事等、カンファレンスで話し合い、計画作成担当者が介護計画を作成する。時には、家族から評価が付いてくる場合もあり、チームで介護計画の作成を行っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的にカンファレンスを行うと共に、状態変化には即時対応、介護計画の変更を実施している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の集まりや法要の送迎など多様な要望に応じている。また、医療機関との連携体制の下、看護師との電話相談で、常に変化に気を配り、入院となる手前の対応を心掛けている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週1の協力医療医院からの訪問診療と共に、以前からのかかりつけ医療機関への受診支援を行っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「重度化及び看取り介護に関する指針」を作成している。家族への説明も行われ、面談合意の基に文書交換を行う体制を整えている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入職時に誓約書に記名。退職後も秘密保持遵守を促している。何の中でも、プライバシーに十分配慮し、優しい声かけなど、対応に不自然さがなく、利用者の応答にゆったり感があり、居心地の良さが伺える。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりがその人らしい生活を送ることが出来るよう、利用者本位を徹底したケアサービスに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が提案した食材を用い、利用者自らが調理方法を職員に教える等、利用者の能力を活かし、利用者と職員共同作業で準備や片付けを行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望で入浴日を決めるが、無理強いはしない。浴槽内に座れるところを設けており、入りやすさ、清潔感共に良好である。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	全て利用者本位を徹底して、支援する体制にあり、茶碗拭きや、洗濯物干し、たたむ、等を自分の仕事としている利用者もいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候によるが、出来るだけ外に出るよう外出支援を心掛けている。ドライブ 茶店 兄弟の面会等、一人ひとりの希望に添った支援を行っている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	自動ドアで対応しており、昼間は施錠せず夜間のみ防犯上施錠している。利用者本人の希望で居室に施錠している人もいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昼夜対応の、火災を想定した避難訓練が行われている。自治会の方や運営推進委員の見学があった。	○	今後、自治会との連携し、消防署と協議のうえ、防災訓練の参加と協力を得られることを期待したい。また、利用者の全員参加を期待したい。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立の作成は、職員が担当しているとの事であるが、バランスもよく、水分確保もきちんとされている。一人ひとりの状態に対応した献立となっている。また、殆どの利用者が完食している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、居間とも広々としており、リラックスできる雰囲気、道路に面している居間も採光、遮音も行き届いている。とても居心地の良い空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	押入れをなくしてベット対応なので、広々と感じられる。どの部屋も其々の馴染みの調度で程よい居室となっている。		

※  は、重点項目。